

「真庭市学校部活動の地域連携に関する検討会議」

の活動報告 第1弾！

「真庭市学校部活動の地域連携に関する検討会議」とは？

現在、真庭市では児童生徒の二一歳の多様化や少子化による生徒の減少などにより、中学校の部活動の維持が難しくなってきました。そこで、子どもたちがこれからもスポーツ・文化活動に参加できる環境を作っていくために、令和5年度に本会議を立ち上げました。真庭市のスポーツ・文化活動、学校教育に携わる様々な方に委員となっいただき、真庭市の課題や現状の情報交換や、具体的なアイデアや解決策を話し合ってきました。

令和6年度も3回の開催を予定しており、「真庭市地域クラブ活動に関する方針」「真庭市学校部活動の在り方に関する方針」の策定や、「地域クラブ認定制度」「人材バンク制度」などの整備へ向けて、検討を重ねています。

既に今年度は5月に第1回、8月に第2回の計2回を実施しました。今回はその様子をお伝えします。



5月27日 第1回検討会議 ～ 令和5年度から令和6年度へ 方向性の意思共有 ～

第1回検討会議では、まず令和6年度の委員の方たちへの委嘱を行いました。検討会議の委員は右表の方々に構成されています。その後、令和5年度の検討会議の経緯、今年度の活動内容の共有や各事業（実証事業、モデル事業）についての説明、そして現状の把握のための協議を行いました。

協議では、学校と指導者（地域クラブ）との連携の必要性、地域や保護者の方々の期待や不安の声についての話題が上がりました。真庭市としては、特に学校と地域クラブとの連携を重視しており、学校と地域が連携して子どもたちを育てていくことができるような関係性を目指すことを再確認できました。

【検討会議の委員】

○各スポーツ団体

スポーツ協会、スポーツ少年団、
総合型地域スポーツクラブ、
(公財) 真庭スポーツ振興財団

○各文化団体

真庭市文化連盟、
(公財) 真庭エスパス文化振興財団

○学校関係

PTA連合会（小学校・中学校代表）
高等学校、中学校、小学校の校長 等

8月21日 第2回検討会議 ～ 実証事業・モデル事業スタート！ 活動方針作成へ ～



第2回検討会議では、各事業等の進捗状況の確認、方針や制度の概案の説明を行いました。「モデル事業」は部活動指導員の方たちと協力してハンドボールと野球で実施しており、課題も見つかりながらではありますが、実施を進めています。国から委託されている「実証事業」では、陸上競技とバドミントン、吹奏楽が地域の指導者の方たちに協力していただきながら地域で活動しています。後半は「真庭市地域クラブ活動に関する方針」の内容についての協議を行い、方針の中身について具体的に考えました。第3回の検討会議での完成を目指しており、学校からの意見もいただきながら、進めていきます。